



■これまでの相談事例■

窓口にはさまざまな相談が寄せられます。
それらの相談に対するコーディネーターのアドバイスの一例を紹介します。

**下請け体質から脱却して、
自社商品を開発したい。**
相談者 ものづくり企業経営者

【アドバイス】

- 自社の強みを洗い出しましょう。従業員の能力を再発見し、商品開発の方向性を考えるため、現場にお伺いする場合もございます。
- よろず支援拠点で開催する「商品開発」のワークショップに参加してみましょう。

**趣味で始めたお菓子づくりを、
本格的な事業にしたい。**
相談者 創業を目指す方

【アドバイス】

- 価格やパッケージ、ネーミングも大切な要素です。他の事例を参考に一緒に考えます。
- 地元のイベントなどに出品し、商品や売り方のヒント、お客様の声を集めましょう。

**作っても作っても、
利益が出せなくて困っています。**
相談者 農作物生産者

【アドバイス】

- 流通ルートを見直してはどうでしょうか。また、生産者の顔が見えることもポイントです。
- 二次加工品の生産(委託)をすると、市場に出せないものや廃棄するものなどのロスを減らせます。

**以前売れていた商品が、
売れなくなってしまった。**
相談者 企業経営者

【アドバイス】

- 世の中のトレンドやヒット商品の推移に目を向けましょう。競合する商品を分析し、なぜ売れるのかを一緒に考えます。
- 売り場や売り方を見直しましょう。
- パッケージやネーミングを変えることで、また売れるようになることもあります。

お気軽にご相談を！

相談日 毎月 第1,第3月曜日 (祝日・年末年始を除く)

利用時間 午後1時～5時

場所 商工会館2階 (八百津町八百津3800番地4)

対象 中小企業・小規模事業者・個人の方

ご利用 予約不要 当日、相談窓口にお越しください。電話による事前予約も可。

お問い合わせ 役場2階 産業課 商工観光係 ☎43-2111(内線2253)
八百津町商工会 ☎43-0266

課題解決へのプロセス

相談がスタートすると、はじめはそれぞれの課題にじっくりと耳を傾けてお話を伺います。ご相談に来られた方の目線に合わせて、まず何から手を付けたらいいかを一緒に考え、課題解決への道筋を導き出していきます。そして、次回の相談までに何をどこまで進めるのか計画を立てて、1回の相談は終了します。